

- 問1 国風文化の時代には、漢字を簡略化したり崩したりして作られた「かな文字」が普及し、日本人の感情を細やかに表現する文学が発達しました。この時期の文学について説明した文として正しいものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 醍醐天皇の命により、紀貫之らが日本最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』を編纂した | 2. 地方の地理や伝承を記録するために、各令制国で『風土記』がまとめられた | 3. 源平の争乱を背景に、琵琶法師によって語り継がれた『平家物語』が成立した | 4. 室町時代の庶民の間で、挿絵入りの物語である『御伽草子』が流行した |
|---|---------------------------------------|--|-------------------------------------|
-
- 問2 1156年に発生した保元の乱は、平安時代末期の政治状況を大きく変えるきっかけとなりました。この政変の直接的な原因となった、当時の朝廷内における対立関係を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------|
| 1. 将軍の跡継ぎ問題をきっかけとした、守護大名同士の勢力争い | 2. 武家政権の樹立を目指す武士団による、朝廷への反乱 | 3. 摂関政治を維持しようとする藤原氏と、新興武士層との対立 | 4. 院政の実権をめぐる、上皇と天皇による主導権争い |
|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------|
-
- 問3 平安京における経済活動や「市（いち）」の仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 政府が設置した市司（いちのつかさ）という役所の監督のもとで、物品の価格や度量衡の管理が行われた。 | 2. 座と呼ばれる同業者組合が結成され、政府の許可なく自由に商売を行うことが認められた。 | 3. 外国との貿易を促進するため、九州の大宰府から運ばれた輸入品を専門に扱う市場として発展した。 | 4. 貨幣経済を浸透させるため、和同開珎以外の貨幣を使用することが厳しく禁止された。 |
|---|--|--|--|
-
- 問4 8世紀の天平文化などが大陸の影響を強く受けていたのに対し、遣唐使の停止を経て10世紀から11世紀にかけて日本独自の貴族文化が成立しました。この時期に成立し、源氏物語や枕草子などの文学作品が生み出された文化の名称を次から選びなさい。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|------------|---------|
| 1. 元禄文化 | 2. 桃山文化 | 3. 弘仁・貞観文化 | 4. 国風文化 |
|---------|---------|------------|---------|
-
- 問5 8世紀末の日本において、それまでの奈良の地にあった都から、現在の京都府にあたる地へ都を移し、律令政治の立て直しを図った人物は誰か。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 桓武天皇 | 2. 推古天皇 | 3. 聖武天皇 | 4. 天智天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問6 9世紀のはじめ、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた人物は誰ですか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 空海 | 2. 行基 | 3. 最澄 | 4. 鑑真 |
|-------|-------|-------|-------|
-
- 問7 平安時代中期に貴族の間で発達した「国風文化」における生活様式の変化について、建築と衣服の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 建築では仏教儀式を独占するための寺院建築のみが発達し、衣服では庶民と同じ麻布の着物が推奨された。 | 2. 建築では禅宗の影響を受けた書院造が、衣服では武士の礼装である直垂や素襖が一般的となった。 | 3. 建築では日本特有の寝殿造が、衣服では男性の正装である束帯や女性の十二単などが用いられるようになった。 | 4. 建築では大陸の様式をそのまま取り入れた壮大な石造建築が、衣服では活動的な胡服が主流となった。 |
|---|---|---|---|
-
- 問8 摂関政治において、藤原氏が長期間にわたって権力を維持し、政治の主導権を握ることができた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 天皇が位を譲って上皇となった後も、天皇に代わって「院」で政治の実務を行う仕組みを整え、藤原氏がその実務を代行した。 | 2. 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の祖父（外戚）となって政治を動かした。 | 3. 遣唐使を廃止して国風文化を振興し、仏教の浄土信仰を保護することで、民衆からの絶大な支持を背景に政治を行った。 | 4. 地方の有力な武士と結びつき、軍事力を背景にして天皇や他の貴族を圧倒することで、世襲による政治体制を確立した。 |
|--|--|---|---|
-
- 問9 平安時代の政治家である藤原実資の日記には、藤原道長が「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることも なしと思えば」と詠んだ和歌が記されています。このように、満月を自分の権力に例えるほどの全盛期を迎えた藤原氏の時代背景の中で成立した、王朝文化を代表する作品はどれですか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 平家物語 | 2. お伽草子 | 3. 源氏物語 | 4. 風土記 |
|---------|---------|---------|--------|
-
- 問10 平安時代に紫式部によって執筆され、唐などの中国文化をもとに日本の生活や感情に合わせて発展した文化を代表する長編小説として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1. 平家物語 | 2. 枕草子 | 3. 源氏物語 | 4. 徒然草 |
|---------|--------|---------|--------|
-
- 問11 東北地方の地理的状況において、日本海側に位置する秋田県、その東側に隣接し太平洋に面する県、秋田県の南に位置する山形県、そして山形県の東側に隣接する宮城県という配置を想定したとき、奥州藤原氏が本拠地を置き、中尊寺金色堂を建立した「平泉」が位置する県はどこか、次の中から選びなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 宮城県 | 2. 秋田県 | 3. 岩手県 | 4. 山形県 |
|--------|--------|--------|--------|
-
- 問12 10世紀から11世紀にかけて、藤原氏が摂政や関白として政治の実権を握った時期、それまでの中国文化の影響を消化し、日本の風土や生活感覚に合わせた独自の文化が発達しました。この文化が形成された大きな背景として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 1. 平清盛が日宋貿易を推進し、宋の優れた技術や貨幣を大量に導入したこと | 2. 聖徳太子が遣隋使を派遣し、仏教や大陸の優れた統治制度を積極的に取り入れたこと | 3. 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との直接的な交流が途絶えたこと | 4. 元寇によってモンゴル帝国の脅威にさらされ、国家意識が高まったこと |
|--------------------------------------|---|--|-------------------------------------|
-
- 問13 平安時代末期の政情から鎌倉幕府の成立までを説明した次の文章において、空欄①と②にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「12世紀半ば、鳥羽上皇の死をきっかけに皇室や貴族が二つの勢力に分かれて衝突する（①）が起こった。この戦いを通じて武士の力が認められるようになり、その後の動乱を経て平氏を倒し、鎌倉に幕府を開いた（②）による武家政治へとつながっていった。」 (2025年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|----------------|
| 1. ①保元の乱 ②源頼朝 | 2. ①平治の乱 ②源義経 | 3. ①承久の乱 ②北条時政 | 4. ①保元の乱 ②足利尊氏 |
|---------------|---------------|----------------|----------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 醍醐天皇の命により、紀貫之らが日本最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』を編纂した	かな文字の発達により、和歌や日記、物語など、日本語特有の響きを活かした文学が花開きました。10世紀初めに編纂された『古今和歌集』は、漢詩文が重視された時代から、再び和歌が公的な場での地位を取り戻したことを象徴しています。これに続いて『源氏物語』や『枕草子』などの傑作も誕生しました。
問2	答え 4 院政の実権をめぐる、上皇と天皇による主導権争い	平安時代末期、鳥羽法皇の死後、崇徳上皇と後白河天皇の間で「院政」の実権をめぐる対立が激化しました。この皇位継承や朝廷の主導権をめぐる争いに、藤原氏内部の対立や源氏・平氏などの武士が巻き込まれる形で武力衝突に至ったのが保元の乱です。選択肢にある「將軍の跡継ぎ問題」は室町時代の応仁の乱などの特徴であり、この時期の状況とは異なります。
問3	答え 1 政府が設置した市司（いちのつかさ）という役所の監督のもとで、物品の価格や度量衡の管理が行われた。	平安京の市は政府による統制経済の側面が強く、市司という官職が市場の不正を監視し、物価の安定や公正な取引（度量衡のチェックなど）を管理していました。中世のような「座」による独占販売や自由な商業活動とは異なり、律令国家の仕組みの一部として運営されていたのが特徴です。
問4	答え 4 国風文化	遣唐使の停止によって大陸との公的な往来が絶えたことで、日本の風土や生活、日本人の感情に即した「国風文化」が成立しました。この文化圏では、中国の漢字を崩して作られた平仮名やカタカナが広く使われるようになり、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』などの優れた女流文学が誕生したほか、貴族の住居である寝殿造や大和絵といった日本特有のスタイルが確立されました。
問5	答え 1 桓武天皇	794年に、都を長岡京から平安京（現在の京都市）へと移し、平安時代を切り開きました。当時、政治に強く介入するようになっていた奈良の仏教勢力から離れ、天皇を中心とする政治の仕組みを再構築することが大きな目的でした。
問6	答え 3 最澄	比叡山延暦寺を拠点に天台宗を広めたのは最澄です。同時期に活躍した空海は、高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を広めました。この二人は、それまでの奈良の仏教とは異なる、山の中での修行を重んじる新しい仏教（山岳仏教）の形を確立しました。
問7	答え 3 建築では日本特有の寝殿造が、衣服では男性の正装である束帯や女性の十二単などが用いられるようになった。	国風文化の時代、生活のあらゆる面で日本風の形式が整えられました。建築様式では、風通しを考慮した「寝殿造（しんでんづくり）」が貴族の住宅として定着し、衣服においても、日本の気候に合わせて重ね着をする「束帯（そくたい）」や「十二単（じゅうにひとえ）」といった貴族独自の装束が完成しました。これらは、中国の模倣ではなく日本の生活環境に適應させた結果です。
問8	答え 2 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の祖父（外戚）となって政治を動かした。	摂関政治の本質は、天皇との血縁関係、特に母方の親類である「外戚」の地位にあります。藤原氏は娘を后として送り込み、生まれた皇子を幼くして天皇に即位させることで、摂政として政治を代行しました。選択肢にある「上皇として政治を行う」のは院政の説明であり、摂関政治とは対照的な仕組みです。
問9	答え 3 源氏物語	藤原道長が詠んだ和歌は、摂関政治によって権力の絶頂にいた藤原氏の状況を象徴しています。この時期に栄えた国風文化の代表作が『源氏物語』です。他の選択肢について、『平家物語』は武士が台頭する鎌倉時代の作品であり、『お伽草子』は室町時代に流行した物語、『風土記』は奈良時代に各地の伝承などをまとめた報告書です。
問10	答え 3 源氏物語	紫式部によって書かれた物語は「源氏物語」であり、貴族社会の様子や情念を描いた国風文化の代表作です。なお、「枕草子」は清少納言による随筆、「平家物語」は鎌倉時代の軍記物語、「徒然草」は鎌倉時代末期の吉田兼好による随筆です。
問11	答え 3 岩手県	奥州藤原氏（清衡・基衡・秀衡の三代）は、現在の岩手県南部に位置する平泉を拠点として約100年間にわたり東北地方を支配しました。中尊寺金色堂は、その平泉に建立された代表的な建築物です。当時の東北地方は、豊富に産出される金や馬を背景に独自の文化が栄えていました。
問12	答え 3 菅原道真の建議によって遣唐使が廃止され、大陸との直接的な交流が途絶えたこと	894年に遣唐使が廃止されたことで、それまで唐から取り入れてきた文化を、日本の気候や貴族の生活習慣に合わせて作り替える動きが加速しました。この時期の文化は国風文化と呼ばれ、藤原氏の摂関政治による安定した社会を背景に、優雅で洗練された日本独自のスタイルが確立されました。
問13	答え 1 ①保元の乱 ②源頼朝	鳥羽上皇の死後に発生し、崇徳上皇方と後白河天皇方に分かれて戦ったのは保元の乱です。この乱には源義朝や平清盛などの武士が動員されました。その後、平清盛が権力を握りますが、最終的に平氏を滅ぼして鎌倉幕府を開いたのは源頼朝です。